

英語辞書をフル活用する 7つの鉄則

磐崎弘貞 著

四六判 288pp.
本体1600円＋税

中畝 繁



英語の辞書攻略本

本書は、英日語週刊新聞 *Asahi Weekly* に連載されていた著者の好評コラム『辞書 GAKU 事始』をもとにして必要な情報を更新し、大幅に加筆修正したものである。読者対象は「辞書は引けるし、使える」と思い込んでいる英語中級学習者以上を想定している。

本書は、書名にあるように各種の英語の辞書をユーザーのニーズに合わせて使い倒す（＝フル活用）ための鉄則7つで構成されている。各章の鉄則は更に5～12の小項目に分かれ、著者の体験に基づいてその活用のノウハウを詳述している。内容の一部を以下に紹介する。英和、和英、英英等をどう組み合わせる効率的に使うか、どうやって学習者自らの活用・生活語彙を増やしていくか、電子辞書と書籍辞書の使い分け、書いた論文の推敲をどうやってネイティブの助力なしに行い、精度の高い英文を生成するか、学習上の「気づき」をどう記録し蓄積するか等、具体的な方略を提示してくれている。著者は『正・続英英辞典活用マニュアル』（大修館書店）という著作もあり、自ら実践・励行する本書の英英の活用アイデアは特に豊富で刺激的だ。教室での生徒に対する辞書指導、自らの英語運用力向上等、我々現場教師にも、本書は吸収すべきエッセンスを多量に含む「攻略本」である。以下で英英の使いこなしの技2つを覗いていただく。

第3章鉄則その3「辞書を活かすのは検索スキル次第」の「スキマ引き」を紹介する。スキマとは、背景知識を意味するスキーマ（schema）と隙間の時間に気軽に活用できるということを掛けた著者の造語である。特に英英辞典初心者を導く場合に有効だ。内容は「意味をすでに知っている単語の英英定義を見る」こ

とをさす。たとえば生徒が turtle＝亀と知っている場合、英英で turtle を引かせると an animal with four legs and a hard shell that lives mainly in water のような定義に出会う。shell が甲羅らしいと推理が働く、不安なら英和で確認させる。ではカタツムリの殻はなんていう？と問いかける。電子辞書ならこんな風に辞書を渡っていく。和英のカタツムリ→英英での snail の定義 a small, soft animal with a hard shell, noted for its slowness. とするとカタツムリの殻も shell でいいわけだ。象（elephant）の英英定義なら a very large mammal having a long trunk and large tusks living in Africa and India とある。形容詞と単数複数情報から未知のフレーズ a long trunk は鼻、large tusks は牙と背景知識を使って類推できる。その後 mammal を類推させて、確認は英和で行う。このような英英・英和・和英をリンクする活用例は大学入試で「自動販売機を英語で説明せよ」のような説明・定義問題への有効な練習方法・問題となる。知らない語を英英で引くとまた知らない語に出会うことが多いが、背景知識が働く見出し語なら定義の中の未知語も推理でき、読解の練習にもなるわけだ。

第4章鉄則その4「セルフチェックと発信スキルアップに活用せよ」の「英英辞典はパラフレーズ用辞書」を紹介する。何かを英語で発信する時、ある概念が英語化できない場合が多々ある。その場合コミュニケーション方略上有効なのがパラフレーズ（言い換え）である。英英の定義の型を身につけて、とっさの言い換えの技を一種のテンプレートとして作り置きする方法だ。「彼はけちだ」と言いたいなら He is くけち. の形になるが、名詞句 a miser, 形容詞 stingy 等が思い付かない場合を考えてみる。例えば miser の英英定義は a person who saves his or her money and doesn't like to spend it. である。応急処置として、以下で伝えたい意味は一応通じる。He is a person who saves his money and doesn't like to spend it. 英英の定義の構造は上位語（a person）＋修飾語（who ... spend it）となっていて、この型を身につけると英語での説明力が向上する。なお、さらなる詳細は味読のほどを。

（なかうね しげる・埼玉県立本庄高校教諭）